



# Inexplicable owl vol.4

2017年11月30日(木)

開場 18:00・開演 18:30 入場無料

名古屋芸術大学 東キャンパス 2号館 大アンサンブル室

(名鉄犬山線「徳重・名古屋芸大」駅から東へ徒歩約8分)

**Inexplicable owl = 「不可解なフクロウ」**

作曲家の多くは皆が寝静まってから活動する印象があり、夜行性のフクロウと掛けている。

作曲というと一般的に難解なイメージがあり、作曲家の考えていることは理解できないと思われがちである。

不可解という言葉はそうした不思議さを表してはいるが、新しい音楽は決して難しいだけではない。

聴いたことのない響きに最初は戸惑いもあるかもしれないが、真新しい音楽には新種を発見した時のような面白さもある。

## Program

田中 範康 / **Sparkling in the space IX** ピアノとエレクトロニクスのための

岩本 渡 / **Synesthesia II** for saxophone and electronics

原田 裕貴 / **フィクション**

牛島 安希子 / **新作**

平野 玲美 / **Luminous Cube**

石川 泰昭 / **Fluttering Flowers**

山田 亮 / **触らず**

細井 博之 / **自由からの逃走** 弦楽四重奏のための



お問い合わせ：名古屋芸術大学演奏課 0568-24-5141 (直通)

後援：名古屋芸術大学音楽学部・芸術学部芸術学科音楽領域、名古屋芸術大学音楽学部同窓会

## Inexplicable owl 名古屋芸術大学の教員・卒業生で構成された作曲家グループ

**田中 範康 Noriyasu TANAKA** 国立音楽大学作曲科並びに器楽科(オルガン専攻)卒業。作品は、世界各地の音楽祭、放送メディアで紹介されている。オーストリアのVMMレーベルから室内楽作品集として、2枚のアルバムがリリースされている他、国内では「田中範康作品集」が2011年に、「田中範康作品集II [音の情景]」が2014年に、ALMLレコードよりリリースされている。現在、名古屋芸術大学芸術学部、同大学院音楽研究科教授。日本現代音楽協会、日本作曲家協議会、日口音楽家協会各会員。

**岩本 渡 Wataru IWAMOTO** 愛知県立芸術大学音楽学部作曲専攻及び同大学院修了。第50回日本音楽コンクール作曲部門第1位。愛知国体、フィギュアスケート本田武司の競技用音楽の編曲、NHK BS番組のテーマ音楽、「愛・地球博」、劇場版アニメ「ボトムズ・ファインダー」のサウンドトラックを担当。国際コンピュータ音楽会議ICMC-SMC2014(ギリシャ)入選。瀬戸内国際芸術祭参加。現在、名古屋芸術大学教授、愛知県立芸術大学、大同大学非常勤講師。

**原田 裕貴 Yuki HARADA** 豊田高専環境都市工学科を卒業後、名古屋芸術大学サウンド・メディアコースに入学、同大学院音楽研究科修了。在学中より映画、舞台、ゲーム、アニメーション、TV-CM等の音楽制作に携わる。現在、名古屋芸術大学、名古屋大学、岡崎女子大学、岡崎女子短期大学非常勤講師。  
<http://yukiharada.com>

**牛島 安希子 Akiko USHIJIMA** 愛知県立芸術大学大学院音楽研究科作曲専攻修了。ハーグ王立音楽院作曲専攻修士課程修了。生楽器・電子音響のための室内楽作品や映像・テキストを取り入れたパフォーマンス作品を制作。第6回JFC(日本作曲家協議会)作曲賞入選(2011)、国際コンピュータ音楽会議(ICMC)2013、2014入選、MUSICA NOVA2014入選。作品はノヴェンバーミュージックフェスティバル(オランダ)、アルスムジカ音楽祭(ベルギー)など、世界各地で演奏されている。愛知県立芸術大学、名古屋芸術大学、各非常勤講師。 <https://akikoushijima.com>

**平野 玲美 Remi HIRANO** 名古屋芸術大学器楽科ピアノコース卒業。同大学院研究生を経て、大学院音楽研究科作曲専攻修了。2009年にはパリで、2012年にはベルギーに於いて自作の室内楽作品を発表。第3回TIAA全日本作曲家コンクール審査員特別賞受賞。第8回横浜国際音楽コンクール・アンサンブル部門(連弾)第2位。ピアノを浦山文子、早瀬圭子の各氏に、作曲・オルガンを田中範康氏に師事。現在、名古屋短期大学非常勤講師。

**石川 泰昭 Yasuaki ISHIKAWA** 愛知県立芸術大学作曲専攻卒業、同大学院博士前期課程作曲領域を修了。名古屋芸術大学、名古屋音楽大学、愛知県立芸術大学、稲山女学園大学、各非常勤講師。映像音楽、CM音楽、展示用BGMなど制作している。坂本龍一にも称賛された全曲擬音・擬態語を用いて制作された1st Album「onomatopia」発売中。「しずくのことば」が、第19回文化庁メディア芸術祭エンターテインメント部門審査員推薦作品選出、OK GoのMV等と共に「Japan Media Art Festival 2016 in Japan Selection 2016」に選出され、フランス、イタリア、メキシコ、アフリカ、香港、アテネ、ギリシャ、ドイツ、ラトビア、ロシアなど多数の海外芸術祭で上映。

**細井 博之 Hiroyuki HOSOI** 名古屋芸術大学卒業、愛知県立芸術大学大学院修了。在学中よりセントラル愛知交響楽団、愛知室内オーケストラ、愛知県立芸術大学管弦楽団を始め様々な演奏家によって作品が演奏される。主な作品にピアノ協奏曲(修士作品)、チェロとピアノのためのソナタ、ヴァイオリンとピアノのためのソナタ「春」などがある。作曲を田中範康、岩本渡、光部雅人、北爪道夫、久留智之の各氏に師事。名古屋芸術大学非常勤講師。

**山田 亮 Ryo YAMADA** 1983年1月生まれ。東京在住。名古屋市出身。愛知県立芸術大学作曲専攻卒業。現在は東京と愛知を中心に活動中。即興演奏やジャズ・ポップスを中心に、さまざまなジャンルで演奏している。自由な即興演奏では本能のままに指が動きだす。生き物のように生命力を持ち、流れる水のように自然。時に激しく、時に美しく、その場の空気や観客の心を動かし包み込む。名古屋芸術大学非常勤講師。

## Players

**戸田 恵 Megumi TODA (ピアノ:田中作品)** 兵庫県西宮高等学校音楽科卒業後、渡仏。2012年6月、パリ国立高等音楽院ピアノ科併せて室内楽科、パリ・エコールノルマル音楽院卒業。2015年3月、名古屋芸術大学大学院音楽研究科修士課程修了。2013年、第10回シャトゥー国際ピアノコンクール(仏)第2位、併せて日仏友好賞受賞。2015年3月、名古屋市文化振興事業団主催「オーケストラの祭典」にてソリストを務め、田中祐子指揮、セントラル愛知交響楽団・中部フィルハーモニー交響楽団合同オーケストラと共演。2017年7月、フランス南部にて、カステルノーダリピアノフェスティバルに出演。これまでに、渡辺泉、石井なをみ、武田真理、中沖玲子、Germaine MOUNIER、Patricia THOMAS、Pierre RÉACH、Bruno RIGUTTOの各氏に師事。

**加藤 和也 Kazuya KATO (サクソフォン:岩本作品)** デンマーク政府奨学金を授与され渡欧し、デンマーク王立ユラン音楽大学大学院後期課程ソリストクラス修了。大学院修了後にユラン音楽大学にてティーチングアシスタントを務めた後、2013年に帰国。帰国後は瀬戸内国際芸術祭でのソロ演奏、今年9月には岩本渡、寺井尚久、久留智之、山本裕之のサクソフォンソロの作品のみによる演奏会で演奏などしている。現在、演奏活動や音楽以外のジャンルのアーティストとの協働などを主な活動としている他、後進の育成や吹奏楽の指揮、アマチュア奏者の指導なども行っている。ori-iro.主宰、エリザベト音楽大学付属音楽園非常勤講師。

**小川 真貴 Maki OGAWA (チェロ:原田作品)** 岐阜県出身。5歳よりチェロを始める。名古屋市立菊里高等学校音楽科、愛知県立芸術大学音楽学部音楽科器楽専攻弦楽器コースを経て、同大学院音楽研究科(博士前期)音楽専攻弦楽器領域修了。第15回日本クラシック音楽コンクール愛知地区本選好演賞、第1回各務原音楽コンクール審査員特別賞、第2回同コンクール入選、第13回長江杯国際音楽コンクール一般の部A奨励賞を受賞。大学主催の定期演奏会、大学院最優秀学生による修了演奏会、読売中部新人演奏会などに出演。チェロアンサンブルCellineのメンバー。これまでに林良一、河野文昭、松波恵子の各氏に師事。

**山内 敦子 Atsuko YAMAUCHI (ピアノ:原田作品)** 愛知県立明和高等学校音楽科を卒業後渡仏し、パリ・エコールノルマル音楽院に入学。高等演奏家ディプロムを修得し最高課程を修了。帰国後、愛知県立芸術大学音楽学部卒業。名古屋音楽大学大学院修士課程修了。第4回ノーヴィ国際音楽コンクール第1位。第5回チェコ音楽コンクール第1位。コンサートグループ「花の詩」会員。名古屋フランス音楽研究会会員。現在、岡崎女子短期大学、岡崎女子大学、中部大学、大同大学各非常勤講師。

**原 綾美 Ayami HARA (ソプラノ&ダンス:牛島・山田作品)** 名古屋芸術大学大学院音楽研究科声楽専攻修了。第4回ウィーンオペレッタコンクールプロフェッショナル部門入選、及び入賞者披露演奏会出演。「フィガロの結婚」スザンナ役、「ホフマン物語」オランピア役、「白馬亭にて」クレールヒエン役。大橋多美子、馬場浩子の各氏に師事。ダンサーとしては、3歳より器械体操、16歳よりLyrical Jazz、Contemporaryなど様々な踊りを学ぶ。EOS 5D Mark III SPECIAL EXPERIENCE 名古屋会場試写体(即興)。歌劇「いのち」コンテンポラリーダンサーで出演。2016年8月ウィーン国立歌劇場にて、歌手・ダンス出演、振付担当。現在、名古屋芸術大学音楽領域技術補助員。

**Quartet Vita (弦楽四重奏団:細井作品)** 2013年、愛知県立芸術大学大学院修了生により結成された弦楽四重奏団。メンバーは、1st Vn.田中安梨、2nd Vn.加藤由佳、Va.橋本歩、Vc.小川真貴。サラマンカホール室内楽クリニックにてF・アゴスティーニのレッスンを、ベスト・オブ・アンサンブル金沢マスタークラスにて山田百子のレッスンを受講。宗次ホール「ランチタイム名曲コンサート」などの演奏会に出演。2015-17年にスタジオリリタにてPf.金沢昭奈とピアノ協奏曲(室内楽版)を共演。2016、17年にスタジオリリタにてリサイタルを開催。2018年4月15日、スタジオリリタにてリサイタルvol.3を開催予定。